



不確実性の高まる環境下における社会課題解決と経済成長の両立に向けて

コマツ会長

小川啓之

おがわ

ひろゆき

「FUTURE DESIGN 2040」では、①少子高齢化・人口減少と、②資源を持たない島国、の2点を、わが国における制約条件、すなわち克服すべき課題としている。加えて、地球環境問題や地政学的リスク、自由貿易を揺るがす動きなど、企業を取り巻く環境の不確実性は前例のない水準まで高まっている。

こうした状況において、企業が中長期的な成長戦略を示し、社会課題解決と経済成長の両立により持続的成長を実現するためには、企業がその事業活動を通じて社会的価値を最大化することが重要で、今なすべきことは以下であると考える。

1 革新的技術の開発と普及

環境に配慮した革新的技術の開発と普及への投資を推進し、知的財産として確立することにより、持続可能な社会の実現に貢献する。例えば、建設機械の分野では電動化や自動化、自律化技術の導入により、効率のかつ環境に優しい施工を実現している。また、克服すべき課題から具体的なユースケースに落とし込み、IoT・AIなどのデジタル技術を活用し、課題解決型の新たな価値創出へとつなぎ、産業競争力の強化を図る。

2 グローバルな視点での事業展開

ASEAN、アフリカなどの「グローバルサウス」と呼ばれる国々とのパートナー

シップの強化を図り、競争力を高めるため、現地のニーズに応じた製品・サービスを提供し、安全・衛生、環境、人材育成などの地域ごとの社会課題に対応することでソフトパワーを強化し、ビジネスを展開する。

3 人への投資と多様性の推進

人への投資により、多様な人材が活躍できる環境を整備するとともに、次世代のリーダーを育成し、組織のダイナミズムを高める。

4 持続可能なサプライチェーン

サプライチェーン全体の環境負荷を低減し、人権問題への取り組みや取引条件の適正化などの透明性を確保するとともに、国際協調体制強化によるフレキシブルなサプライチェーン構築に取り組み、企業の信頼性を高め、長期的な経済成長を支える。

5 地域社会との共生

地域産業を支える高度技術人材の育成を、産学官で支援するなど、地域社会との連携を強化し、地域経済の発展に寄与する取り組みを推進する。

困難で不確実性の高い時期に副会長を仰せつかり、身の引き締まる思いである。微力ながら、「FUTURE DESIGN 2040」の実現に向けて尽力したい。あわせて、農業活性化委員長を拝命した。食料安全保障など農業を取り巻く諸課題の解決の一助となるよう取り組みたい。